

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援LIGARE					公表日	令和7年4月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境 制・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		検査道具がさまざまな種類があり、よりお子さんの様子に合わせてアセスメントできることが良い。ただ、道具が揃っていなかったり、別の検査と共有で使うものがあったりしているので、きちんと整理したい。また、今後は訪問支援時に使える書籍や資料をいっておこうと考えています。	・アセスメントの候補については職員間で話し決めていきます		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3					
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	すでに予定済みかと思いますが、できれば1~2週間に1回は会議(ケース検討や業務確認など)をした方が良いと思います。	・今後は定期的にケース会議を行っていきます		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	今から始めることだと思います。			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		できるだけ職員の意見を聞く機会を設けていただいていると思います。ただ、昨年度はメンバーが揃うことが少なく、会議の議題や議事録をまとめて整理していくのが難しかったと思います。今年度はその整理をしっかりとできると良いと思います。	・Zoom等を活用してなるべく多くの職員が参加できるようにします		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	今からだと思います			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		受けたいと思った研修は検討していただけるので、とてもありがたいです。また、研修情報もいただけるので助かります。			
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		見た後で、どのアセスメントが適切に必要なを検討するようにしています。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		もう少し検討する機会が増えたと良いと思います。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		支援計画や支援目標を保護者、担任と共有するようにしています。また、変化があった場合には変化があった場合にはタイムリーに共有できるように連絡を密に取っています。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		共有場面はやや少ないので、もう少し増やす必要があると思います。			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		多職種で連携し、必要な検査を実施している。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	多職種で連携し、必要な検査を実施している。毎日確認ではなく、定期的に今後の支援について確認している。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	終了時の様子等について、聞くことはありますが、スタッフ同士が会う時間が少なく、気づきや支援内容の振り返りを深くすることはできていないと思います。していかないといけないと思います。	・今後は定期的にケース会議を行っていきます		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		新しく何う園の場合は、できる限りその園の方針や理念を聞く			

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		毎回の訪問支援や、保護者・関係機関とお話ししたときには、記録をとっています。		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		毎回、訪問先の担当の先生と支援内容やその時点での先生方の気になることを聞き、報告書で保護者にも伝えるようにしています。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		担当しているお子さんの担当者会議には必ず出席するようにしています。		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		お子さんが関係する、事業所・医療機関・療育機関と可能な限り情報共有するようにしています。実際に現場に見学に伺っていただき、顔を合わせてお話しすることでより連携しやすい関係を作っていると思います。		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		隣の先生から、就学先に向けて連絡してほしいことや伝えてほしいことなどを、最後の訪問時にも確認するようにしました。就学先でもこれまでの支援が継続していけるように、文書でお伝えをしています。		
関係機関や保護者との連携	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		より新しいアプローチやその研修について、情報共有させてもらえるのでありがたいです。		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			報告書だけでなく、LINEやお電話も使い、できるだけタイムリーにお子さんの様子をお伝えるようにしています。また、お家での様子も保護者の方から聞くようにしています	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		保護者の方にそのようなプログラムがあるという情報はお渡ししたことがありますが、実際に事業所や自分自身で研修をしたことはありません	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3				
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			訪問開始前に個別に時間を取っていただき、事業内容や目的について納得していただけてから訪問を始めるようにしているとします。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3				
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3				
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			LINEでやり取りができるので、保護者の方が気になったときに連絡を下さることが多いと思います。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2		今からしていくことだと思います	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3				
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3			まだ頻度としては少ないので今後増やしていく必要があるのかなと思います。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3				
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			保護者の方のタイプによっては、連絡の方法やお伝えの仕方によって伝わりにくい時があるので、その都度伝わりやすい方法を使用するようにしています。	

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		訪問先で関わる先生には、事務所代表の連絡先だけでなく、担当の公用携帯連絡先をお伝えし、スムーズに対応できるように心がけています。		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		訪問先にもそれぞれの時間の流れがあるので、可能なときは事前にカンファの時間や場所、参加される先生についてお伝えして、無理なくできるようにしています。		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		家庭でも取り組めることを報告書に記載します。必要に応じて絵や写真を使っています。もっと動画なども活用していきたいです。		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3				
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3				
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3				
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3				
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			今の所、ヒヤリハットに遭遇していないので、今後あれば対応していきます。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3				
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3				